

【三島町・福島大学連携事業】

野生動物との共存

・里山地域づくり

実践報告会



【開催日】 3 / 20 (金) (祝)

【時間】 11:00 開場 (飲食・展示)
13:00 報告会開始

【会場】 三島町交流センター山びこ

【申込期限】 3 / 16 (月) 締切



三島町では福島大学食農学類と連携して、農林水産物等の地域資源を活用した地域内発型の産業振興と地域製品の付加価値化を図るために循環型堆肥技術の取り組みを進めています。

また、里山地域づくりの一環として地域の方の協力を得ながら、緩衝帯整備や ICT 機器を活用した鳥獣の行動把握を実施することで三島町モデルの鳥獣対策を行っています。

これまで活動してきたことを福島大学食農学類の先生と三島町鳥獣対策専門員による報告の場として開催しますので、ぜひご来場ください。

【後援】 福島大学・福島県会津地方振興局

【主催】 三島町役場産業建設課
【連絡先】 ☎0241-48-5566

【1部】 13:05 ~ 13:30

三島町における 鳥獣対策の状況報告

鳥獣対策専門員 ^{すずき りょう} 鈴木 亮
(三島町地域おこし協力隊)



福島市出身。福島県警察官として 24 年間勤務し、狩猟への強い憧れから退職し移住を決意。2023 年 9 月に三島町へ移住し、鳥獣対策専門員(地域おこし協力隊)として町内での鳥獣対策に従事している。

【現在の主な取組】

住宅地に出没しているツキノワグマ・ニホンザルへの対策など

【2部】 13:40 ~ 14:05

2025 年度のクマ問題と今後に向けた里山・生態系管理の課題

福島大学食農学類
准教授 ^{もちづき しょうた} 望月 翔太
(野生動物管理学)



山梨県出身。新潟大学大学院自然科学研修科博士後期課程修了。新潟大学自然科学系(農学部)助教を経て、2018 年より福島大学に着任し 2019 年より同食農学類准教授。福島県内各地の獣害対策の研究に従事。会津では、西会津町・猪苗代町で獣害対策の実証試験を実施中。2024 年三島町にて緩衝帯整備対策の助言と現地調査を実施。NPO 新潟ワイルドライフリサーチ副会長。

【3部】 14:15 ~ 15:15

《パネルディスカッション》

里山と農業の資源循環と地域活性化をどうつなげるか

【座長】

福島大学食農学類 准教授 ^{はやし くんべい} 林 薫平
(農林資源経済学)



【パネリスト】

福島大学食農学類 准教授 望月 翔太
鳥獣対策専門員 協力隊 鈴木 亮
桐の里産業(株) 農業班長 佐藤 恭子
まかないや 店主 小松 今日子

※パネルディスカッション終了後、情報交換会を開催予定です。

神奈川県出身。東京大学農学部卒業、同大学院修了(農業・資源経済学)。2013 年以後、福島大学で農林水産業を調査。2019 年より同食農学類准教授。2019-20 年、福島県林業アカデミー検討会副会長。他に、二本松市棚田協議会委員、福島大学生の森林自己学習活動顧問、日本有機農業学会理事など。2023 年より奥会津三島ブランド PR 推進協議会の地域資源活用アドバイザー。

【会場アクセス】

(住所) 福島県大沼郡三島町大字
名入字諏訪ノ上 418
(電話) 0241-52-2165



★ お食事の出店内容 ★

※数に限りがございます。ご了承ください。

《まかなひや》

ジビエ料理(北海道産)

《キッチン MORy》

うどん / 豚丼 / 玉こんにゃく

《ハシノハシ》

コーヒー / カフェオレ / チャイ